

防災リーダー養成研修より講話の内容を一部紹介します。
 地域、家庭での防災にお役立てください。

地震発生時の行動パターン

地震発生

最初の大きな揺れは約 1 分間

- 火の始末はすばやく
- ドア、窓を開けて脱出口を確保する
- 転倒の恐れのある家具などから離れ、机などの下に身を隠す
- あわてて外に飛び出さない



揺れがおさまったら、火元・家族の安全を確認

- 火元の確認・初期消火
- 家族の安全を確認
- 靴をはく
- 出火防止。ガスの元栓を閉め、電気ブレーカーを切る
- 非常持ち出し品の用意



ラジオ・テレビなどで正しい情報をつかむ

- ラジオなどで情報を確認
- 周囲の様子を確認
- 余震に注意



災害の状況に応じて冷静に対応

- 隣近所の安全を確認
隣近所に声を掛け、互いの安否を確認する。
に高齢者や障害者などの災害時要援護者の世帯には積極的に声をかける。
- 消火・救出活動
隣近所で協力して消火や救出を行う。自分たちの手に負えない場合は消防署、警察へ通報する。
- 周囲に危険が迫っている場合は速やかに避難する



正確な情報を入手し、安全が確保できるまで警戒を

- 自宅や地域の安全が確認できるまで警戒をする
- 生活必需品は備蓄でまかなう
- 壊れた家には入らない
- 避難生活では集団生活のルールを守る



防災リーダー養成研修会を開催しました

7月4日(土)、8月2日(日)の2日間にわたり、各区より選出された67人を対象に、防災リーダー養成研修を開催しました。

第1回防災リーダー養成研修

岡崎市市長公室防災危機管理課^{やぶたゆきひさ}数田幸久さんを講師に招き、普段から家庭にある身近なものを使った災害対策や、火災発生時の対応についてなどの講話を行いました。



①防災講話「防災意識の向上について」の受講風景 ②講師の数田氏
③簡易トイレの実演 ④ビニール袋を利用した消火訓練を屋外で実施

第2回防災リーダー養成研修

MCA無線機の取扱説明、東日本大震災の災害伝承語り部として活動されている、元仙台市太白消防署長で、任期中に東日本大震災を経験された、^{きょうえいじろう}京英次郎さんを招き「地震対策松竹梅」3.11から学ぶ」を題材に震災当初の経験を交えた講話を行いました。



▲MCA無線機の取扱説明の様子



▲防災講話「『地震防災松竹梅』3.11から学ぶ」の講師の京さん(写真中央)

各種手当てをご存じですか？

児童の健全育成や高齢者および障がい者の福祉の増進を図るため、各種手当支給制度があります。

対象と思われる人で、まだ手当を受けていない人は、手続きをしてください。

手続き場所・問合せ

- ①、④、⑤、⑥ 福祉課福祉G (内線153)
- ②、③ 福祉課介護保険G (内線154)
- ⑦～⑪ こども課 (内線133)

名称	支給要件	所得制限
① 幸田町 心身障害者 扶助費	身体障害者手帳・療育手帳または精神障害者保健福祉手帳を持っている人 * 下記の人は除きます ● 介護人が在宅介護手当受給者 ● 施設入所者 ● 65歳以上の新規・転入 * 手帳・等級変更の場合は、支給額の変更はありません。	無
② 幸田町 在宅介護 手当	要介護3～5で65歳以上の人を現に在宅で介護している同一世帯（住民票を同一にされている）の親族 * 対象者が入院、入所している期間は除きます。	無
③ 幸田町 家族介護 手当	要介護4または5で町民税非課税世帯の65歳以上の人を過去1年間介護保険サービスを受けず（ショートステイは7日以内なら可）に在宅で介護している同一世帯（住民票を同一にされている）の親族	有
④ 特別 障害者手当	20歳以上で、知的または身体に著しい障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護が必要な人 * 施設入所者、長期入院者は除きます。 ● 身体障害2級（一部を除く）以上の障がい重複している人 ● 身体障害2級（一部を除く）以上の障がいがあり、IQ20以下の人 ● 身体障害2級（一部を除く）以上の障がいまたはIQ20以下で、ほかに3級相当の障がい2つ以上ある人 ● 身体障害2級（一部を除く）以上の障がいまたはIQ20以下、もしくは、これと同程度の障がいまたは病状がある人で、日常生活でほぼ全面介護が必要な人	有

名称	支給要件	所得制限
⑤ 障害児 福祉手当	20歳未満で、知的または身体に著しい重度の障がいがあるため、日常生活において常時特別の介護が必要な児童 * 施設入所者は除きます。 ● 1級身体障がい児 ● 2級身体障がい児の一部（常時介護を必要とする人） ● IQ20以下の知的障がいまたは病状で常時介護が必要な人	有
⑥ 愛知県 在宅 重度障害者 手当	● 身体障害者手帳1・2級+IQ35以下の人（1種） ● 身体障害者手帳1・2（2種）の人 ● IQ35以下の人（2種） ● 身体障害者手帳3級+IQ50以下の人（2種） * 施設入所者、3ヵ月以上継続して入院している人および特別障害者手当、障害児福祉手当の受給者、65歳以上の新規手帳取得者は除きます。	有
⑦ 児童手当	中学校卒業までの児童を養育している人 * 公務員は勤務先から支給されます。	有
⑧ 児童 扶養手当	父または母、もしくは、両親のいない18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）の児童を養育している人 * 親の一方が重度の心身障がい者の場合は対象になりません。	有
⑨ 愛知県 遺児手当	父または母、もしくは、両親のいない18歳以下（18歳に達した日の属する年度の末日まで）の児童を養育している人 * 支給期間は認定から5年間です。 * 親の一方が重度の心身障がい者の場合は対象になりません。	有
⑩ 幸田町 遺児家庭 扶助費	父または母、もしくは、両親のいない義務教育修了前の児童を養育している人 * 親の一方が重度の心身障がい者の場合は対象になりません。	無
⑪ 特別児童 扶養手当	20歳未満の障がい児（身体障害者手帳1～3級程度、療育手帳A・B判定、内部障がい、精神障がいなど）を養育している人	有

第8回 幸田プレステージレクチャーズ ～ものづくり日本 講演会～

- と き** 11月6日(金) 開場：午後1時 開演：午後1時30分
- と ころ** 町民会館 つばきホール
- 内 容** 「地域から世界へ！ 燃えないマグネシウムが産業を変える」
軽くて強くて燃え難いマグネシウム合金が熊本大学で開発され、KUMADAI マグネシウム合金として世界的に注目されている。この革新的な合金が開発されたことによって、マグネシウム合金の普及を阻害していた課題が一気に解決できる目処が立ち、マグネシウム新時代が到来しようとしている。
- 対 象** どなたでも受講できます。
- 定 員** 400人 *定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 講 師** 熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター
センター長/教授 河村能人 氏
- 受講料** 無料
- 申込み** 随時申し込みを受け付けています。電話またはFAX、Eメール、ホームページからお申し込みください。
【電 話】 役場執務時間中に、下記の問い合わせ先へお申し込みください。(平日の午前8時30分～午後5時15分)
【F A X】 第8回幸田プレステージレクチャーズ申込みと明記し、事業所・団体名、役職、氏名、所在地、電話番号を記載し、FAX番号：0533-67-6557に送信してください。
【Eメール】 事業所・団体名、役職、氏名、所在地、電話番号を記載し、2015kmrc@gmail.comあてに送信してください。
【ホームページ】 プレステージレクチャーズ申込みよりお申し込みください。
<http://2015kmrc.weebly.com>

講師紹介



かわむらよしひと
河村能人 教授

【略 歴】

- 1983年3月 名古屋大学工学部 卒業
- 1985年3月 名古屋大学工学部大学院工学研究科博士前期課程 修了
- 1985年4月 日本電装(株)(現(株)デンソー) 研究開発部 研究員
- 1993年3月 東北大学大学院工学研究科博士後期課程 修了(工学博士)
- 1993年4月 東北大学金属材料研究所 助手
- 1999年9月 東北大学金属材料研究所 助教授
- 2000年10月 熊本大学工学部 助教授
- 2004年4月 熊本大学工学部 教授
- 2011年12月 熊本大学先進マグネシウム国際研究センター センター長

【主な受賞歴】

- 日本金属学会「第58回功績賞」受賞(2000年)
- 日本金属学会「論文賞」受賞(2002、2005、2007年)
- 日刊工業新聞社モノづくり連携大賞「新技術開発賞」受賞(2008年)
- 素形材センター素形材産業技術賞「奨励賞」受賞(2009年)
- IMS 2011 International Metallographic Contest, First Place, Class 3 Electron Microscopy - Transmission and Analytical(2011年)
- 文部科学省科学技術政策研究所「ナイスステップな研究者2012」に選定(2012年)
- 本多記念会「第10回 本多フロンティア賞」受賞(2013年)
- 日本ファッション協会「日本クリエイション賞」受賞(2015年)
- 日本金属学会「功労賞」受賞(2015年)

問合せ 幸田プレステージレクチャーズ運営事務局(企画部内、内線341)

新教育委員に中根晃さんが就任されました

尾中明さん（里区）の任期満了に伴い、中根晃さん（芦谷区）が10月1日付けで就任されました。任期は10月1日から2年6か月です。



なかね あきら
中根 晃氏

就任あいさつ

このたび、教育委員という大役をいただき身のひきしまる思いです。社会が大きく変化している現在、児童・生徒を取り巻く環境も変わってきており、今を生きる力を身に付けることが子どもたちには求められていると思います。特にマスメディアの発達が著しく、知識獲得には優れているものの、情報社会に人々の心が振り回されている感じがします。これからの教育は人間性に満ちた「こころの教育」に力を向けるべきではないでしょうか。私たちが育った時代は、戦後の何もない時でしたが、大勢の友人に囲まれ、切磋琢磨して成長してきました。少子化のこれからは、困難に打ち克つたくましい心を身に付けるための方策を考える必要があると思われま。

微力ではありますが、多くの皆さまの声を聞き、社会の宝である子どもたちの力になれるよう努力したいと思えます。よろしくお願いいたします。

問合せ 学校教育課 庶務G（内線422）

一般不妊治療費助成事業のお知らせ

町では、一般不妊治療を受けているご夫婦に対して、一般不妊治療などにかかる費用の一部の助成を行っています。

●制度の概要

助成対象者 以下のすべての条件をみたす人

- ①法律上の婚姻の届け出をしている夫婦
- ②夫または妻のいずれか一方または両方が幸田町に住所を有し、住民基本台帳に登録されている人
- ③不妊症と診断され、一般不妊治療を受けている人
- ④医療保険法による被保険者もしくは組合員およびその被扶養者
* 第2子以降の一般不妊治療なども対象となります。

助成金額 一般不妊治療等にかかる本人負担額の2分の1以内の額 * 限度5万円

助成期間 助成を開始した最初の月から継続する2年間

申請 年度毎の申請となります。平成27年3月～平成28年2月の診療分の申請は、平成28年3月25日（金）までが申請期限となります。

* 詳しいご案内と申請書類一式については、町ホームページからダウンロードできます。

問合せ 健康課 母子保健G（内線184）

第40回 幸田文化協会 秋の文化祭が開催されます

とき 10月31日（土）午前9時～午後5時
11月1日（日）午前9時～午後4時

ところ 幸田町民会館・図書館ギャラリー

主催 幸田文化協会

後援 幸田町・幸田町教育委員会・中日新聞社

創立40周年記念式典・表彰式

とき 11月1日（日）午前10時～

ところ 町民会館 さくらホール

そのほか 開幕セレモニーとして、午前9時30分から三河万歳の披露を行います。

問合せ 幸田文化協会 ☎63-5688

場所		期日	10/31（土）	11/1（日）
図書館ギャラリー			日本画・絵画・油絵・陶芸	
町民会館	2階		茶道・郷土史・古文書・手編み 手芸・レザークラフト（革工芸）	
	1階		写真・ちぎり絵・着付・俳句・短歌	
	地階 あじさいホール		盆栽・華道・書道・表装 フラワーアレンジメント	
館	さくらホール			記念式典 AM10:00 表彰式
	つばきホール		歌謡研究会発表会 AM9:00～PM5:00	第1芸能発表会 AM11:30～PM4:00

国勢調査へのご回答はお済みですか

提出の期限は10月7日（水）です。調査票への記入、提出をお願いします。

国勢調査 2015

- 国勢調査は、平成27年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人および世帯が対象です。
- 記入いただいた調査票は、郵送提出用の封筒に入れて郵送でご提出いただけます。

- 万一、調査票が届いていない場合は、幸田町国勢調査担当にご連絡ください。

（インターネット回答をいただいた世帯には調査票は配布されません）

【連絡先】 企画政策課 広報広聴G 国勢調査担当
☎62-1111（内線333）☎63-5132（直通）



国勢調査、調査票の提出はお忘れなく！
封筒に入れる前に、調査票の記入に誤りがないか、
確認をお願いします。

■国勢調査コールセンター ☎0570-07-2015

* I P 電話の場合は、☎03-4330-2015

- 設置期間：10月31日まで
- 受付時間：午前8時～午後9時
- * 一般固定電話の場合、全国一律で市内通話料金をご利用いただけます。携帯電話・PHSの場合は、それぞれ所定の通話料となります。
- * I P 電話用電話番号の通話料金は、所定の通話料となります。

第43回 幸田町ユニバーサルホッケー大会を開催します

とき 12月12日（土） 小学生3・4年の部、小学生5・6年の部
13日（日） 小学生1・2年の部、中学生の部、ジュニアの部、シニアの部
* 開会式は両日とも午前8時30分～

ところ 豊坂小学校体育館、勤労者体育センター * 開会式は豊坂小学校体育館

参加資格 町内在住または在勤者

チーム編成 ・ 1チーム10人以内（出場選手は6人）

- ・ 小学生の部は、男子4人・女子2人、男子3人・女子3人、男子2人、女子4人のいずれかで出場すること。
- ・ 中学生、ジュニア、シニアの部は、出場選手の中に女性を2人以上含むこと。
- ・ ジュニアの部は、チーム内の男性が中学卒業以上～34歳以下のチーム。
- ・ シニアの部は、チーム内の男性が35歳以上のチーム。ただし、34歳以下の男性がいるチームでも、試合に34歳以下の男性選手が1人しか出場しなければ、シニアの部で出場することができます。（ただし、中学卒業以上とする。）
- ・ 年齢は10月1日現在で判断します。女性選手の年齢制限はありません。（ただし、中学卒業以上とする。）

そのほか ・ 中学生の部、ジュニアの部、シニアの部についてはマイスティック（ユニバーサルホッケー用）の使用を可とします。なお、破損などした場合は、自己責任とします。

- ・ ボールはユニホック用のものを使用します。
- ・ 組み合わせ抽選は、生涯学習課が行います。
- ・ 駐車台数に限りがあるため、乗りあわせで来場してください。

応援する人も必ず体育館シューズ、もしくはスリッパを持参してください。

申込み 11月4日（水）までに、メンバー表を添えて、生涯学習課スポーツG（内線192）へお申し込みください。